



開幕を飾った第一中学校プラスバンド部の演奏は会場いっぱい響きわたり、童謡などで参加者と一体となりました。

響きわたる吹奏楽.....胸を打つ介護講談

—第19回健康まつりに1500人—

さるかどした

八戸医療生活協同組合
〒031-0001
八戸市順家5丁目38-20
発行責任者 内田弘志
Tel.0178-71-3456

体育館では

第19回健康まつりは、10月3日(日)、心配された天候も祭り日和に恵まれて、新型インフルエンザ対策で急ぎよ中止となった昨年の分も楽しむことができました。1500人もの参加者で各コーナーは大賑わいとなりました。

“生きていくから
かゆいんだ”

メインゲストの田辺鶴暎さん、講談師の舞台に立ちながら現在三人目の家族(義父)の在宅介護にあたっての経験からにじみ出る一つ一つのお話が笑いの中で私たちの胸を打ち、共感をよぶものでした。我慢を超えてかゆがる義父の背中をさすりながら「生きていくからかゆいんだよ」ということばに鶴暎さんの介護のこころを読み取る事ができました。



第一中学校プラスバンド部特別ゲストとして出演し、熱唱の一山義夫、鈴木ブラザーズ(二中支部)



弟子で娘さんの銀治さんが前座を飾りました



体育館の午前の部は今年も加藤暎子さん門下生のみなさんといっしょにリズム体操で額に汗しました。

支部自慢の芸に拍手喝さい

午後の大演芸会には7支部が出演し、日ごろの練習の成果を披露しました。



福祉公民館では

保健コーナーを中心に各会場とも前回以上の参加者で賑わいました。



健康チェックを受けた後の健康相談(↑)や栄養相談(→)、お薬相談には順番を待つ人が出るほどでした。診療所の看護師、管理栄養士、あけぼの薬局の薬剤師が対応しました。初めての健康体操体験コーナー(↓)も人気を呼びました。健康づくり委員会が担当しました。



対馬治療院の協力によるマッサージの無料サービスも好評でした

インフルエンザ予防接種

今年の予防接種は、従来の季節性インフルエンザと新型インフルエンザをいっしょにしています。
65歳以上の方は、予約なしで生協診療所で接種できます。料金は千円です。
中学生以上65歳未満の方は、予約が必要です。料金は2千円です。
○予約専用電話 20-0546



「協力ありがとう」ございました

第19回健康まつり実行委員長 清野 喬治

二年ぶりに開催された第19回健康まつりは、実行委員、職員、支部の皆さんのご協力により、成功裏に終わることが出来ました。実行委員長として心より感謝いたします。
第一中学校のプラスバンド、田辺鶴暎さんの介護講談、演芸会での支部の皆さんの力あふれる演技、どれをとっても素晴らしいものでした。ご支援ご協力、本当にありがとうございました。

診療所休診日

(毎月最終土曜日)

月	休診日
11	27日
12	25日
1	29日

○年末年始休診
12月30日
～1月3日

の像(那覇市松山公園)は初めてであった。ひめゆりの塔は有名だが、沖縄戦の犠牲となった女学生たちはここにいたことを知って平和への思いを新たにしたい。
伊波さんとは、「今度は知事室でぜひお会いしたい」と握手して別れたのだった。伊波さんは市長を辞し知事選に立つ。何よりも基地のない平和な沖縄と平和な日本のために。



虹の旗
十月八日から基地問題で揺れる沖縄を訪れた。基地のない平和な沖縄をめざす八戸の会の一員としてである。
世界一危険な基地とアメリカ政府自らも認める普天間基地の無条件撤去を掲げる伊波(い)は、宜野湾市長と、日米合意で移設先にされている辺野古を抱える名護市の稲嶺市長と相次いで会うことができた。両市長とも折から議会開催中にも関わらず、休憩時間を利用してあいさつされた。両市長とも「ぶれることはない」と固い意志を表明し、敬服の念を一段と強くした。
九日は沖縄戦の戦跡を回った。八戸の会を結成してから何度も戦跡めぐりをしているものの、「白梅の乙女」



八建協の丸太のこぎり体験コーナーは子どもたちに大人気



模擬店から仕入れたご馳走でオシャベリもはずむ交流広場。食堂は内も外も大繁盛でした。



野菜他どの模擬店も売れ行き好調で完売のようすでした。売上金は支部活動の資金になっています。



アレっ、田辺鶴咲さんと銀治さんが模擬店をのぞいています。

健康まつり
広場では



子どももコーナーは今年もたくさん遊びました。



中庭ではグラウンドゴルフの体験コーナーが設けられ、初心者から親子連れなど気軽に楽しんでいました。



支部・班活動、サークル活動の紹介コーナーは、日ごろの出会い・ふれあい・支えあいの活動を写真で紹介して好評でした。来年はすべての支部からの参加を期待しましょう。サークルは山の会が登山道で出会った山草を紹介。



各団体の署名コーナーも設けられました

組合員活動あらかると



館支部 9月26日、館公民館に組合員20人が出席して支部総会を開催。引き続き大上芳孝さんを支部長に選出。寺地栄訪問看護ステーション所長が健康講話を。



絶好のスポーツ日和に恵まれた8月27日、新井田公園で八戸医療生協理事長杯第六回グラウンドゴルフ大会が開かれました。年々参加者も増え、三〇〇人もの大会となりました。熱戦を制し優勝に輝いた前田美智子さんは、大会二人目の女性チャンピオンとなりました。

上十三支部誕生！

出張診療所開設めざして
初代支部長に小笠原邦定さん

10月16日、十和田市を中心とする上十三地域に念願の支部が結成されました。この日の結成総会では、支部長に小笠原邦定さん（六戸町）を選出するとともに、この地域にも早期に出張診療所の実現をとの声が多く出され、そのためにも組合員増やしや楽しい支部づくりががんばることを確認しました。



支部結成総会に上十三の広い地域から集まったみなさん

あなたも参加しませんか

◇ボランティア学校◇

日時 11月27日(土) 13:30~
場所 八戸市福祉公民館
講師 「ボランティアの原点をみつめて」
八戸工業大学 徐明仿先生
主管 ボランティア委員会

◇認知症サポーター養成講座◇

日時 12月5日(日) 10:00~12:00
場所 医療生協組合センター
講師 認知症の人と家族の会県支部
世話人代表 石戸育子さん
主管 健康づくり委員会

グラウンドゴルフ大会 上位入賞のみなさん

- 1位 前田美智子(68打数)
- 2位 夏坂 松夫(74打数)
- 3位 佐々木兼弘(75打数)
- 4位 佐藤 圭充(75打数)
- 5位 葛西 俊司(75打数)
- 6位 向 財充(75打数)

十和利山で
今年も有終の美を



後方の山が十和利山(879m)

山の会は10月17日、十和利山で今年の登山を納めました。33人参加。下山後は十和利荘でキノコいっぱいのトン汁で疲れを癒しました。

◆シリーズ・古玉辰二の辻説法②◆ あんしん相続を考える

○健康まつり
生活相談コーナーを担当して、開店休業かと恐れしたが、どうしてどうして千客万来の盛況で、生協さんの実力に恐れ入りました、の感を持ちました。

この機会に「遺言分割」について考えてみましょう。故人の財産は、「遺言」で指定があればこれに従うこと。なければ相続人全員の同意(分割協議書)で実行されることは衆知のこと。私の考えでは、「自分の財の行方は自ら決める」ことが大事だと思っている。相続人に決めさせるのは無責任とも。

しかし、欠陥のある遺言では、かえって事態を紛糾させてしまう。複数の相続人に土地の分割を指定したが、その上の建物の分け前を失念するが如きである。半世紀に近い税理士人生ではいろいろなシーンに遭遇したことを思い出す。

遺言は法律行為だから、何らかの機会、例えば法律の無料相談日とかをとらえて、専門家の見解を求めておく必要があり、それが家族に対する「愛」の表現だとも思う。

新入職員紹介



荻沢愛美
診療所看護師
患者さんが気持ちよく診察が受けられるように笑顔で頑張ります。



関下知子
介護福祉士
デイサービスの経験がないので教わりながら一人立ちできるように頑張ります。



井端ひろ子
診療所看護師
患者さんが安心して診療が受けられるよう一生懸命頑張ります。